

## 今年は協会設立35周年の年です！

1987年7月18日に設立した習志野市国際交流協会は、今年で設立35周年を迎えます。タスカルーサ市との姉妹都市交流をはじめ、様々な国際交流活動を推進してきた35年間を振り返り、10月に記念講演会やアニバーサリーパーティーなども企画しています。新型コロナウイルスの影響で、ほぼ2年間、制限されてきた事業も再開に向けて準備を進めてきました。一部の国で再拡大が起こったり、新たな変異株が出てきたりともまだ先の見えない部分はありますが、活動ごとに感染症対策を講じながら徐々に事業を再開していきます。

1月以降、次の事業を再開していく予定です。実施方法や再開時期など詳細については事業ごとにお知らせします。  
(今後の状況によっては変更になる可能性もあります。)

- ・2021年度 バスツアー
- ・2021年度 文化講演会
- ・日本語教室
- ・チャット
- ・梅花会



## バスツアー再開のお知らせ！

今年度は参加人数を減らしてバスツアーを開催します。

行き先は、横浜中華街と横須賀です。

中華街では自由行動ですので、美味しいものを食べたり、ぶらぶらしたりして楽しい時間をお過ごしください。

横須賀では記念艦三笠の見学と無人島猿島ツアーを計画しています。

今回は会員とその同伴者のみの募集で、新型コロナワクチン2回接種済みが条件になります。

- 開催日：2022年1月27日(木)
- 集合：9:00 市役所1階入口(駐車場から入る方)
- 解散：18:00頃 京成津田沼駅
- 申込方法：参加費(会員4,000円、非会員5,000円)とワクチン接種済みを確認できるものをご持参のうえ事務局にお越しください
- 申込開始：2022年1月11日(火)
- 募集人数：20名(先着順)



横須賀三笠公園の  
東郷平八郎像と戦艦三笠(左)  
横浜中華街(右)



## 習志野市新ALTを紹介します 夢は、二つの文化の懸け橋に！

コロナ禍の2021年8月、習志野市の新ALT（外国語指導助手）2名が、アメリカ・アラバマ州からやって来ました。アレクシス・アセヴェド（Alexis Acevedo）さんとメロディ・ショー（Melodi Shaw）さん。8月末に、それぞれ第五中学校、第六中学校に着任。現在、ALTとして活躍中です。



アレクシスさん(左) とメロディさん(右)

### 大好きなオムライス作りに挑戦！

#### アレクシス・アセヴェドさん

「両親はテキサス州に住んでいます。（習志野市の姉妹都市タスカルーサにある）アラバマ大学を卒業しました。専攻は国際関係スタディー、副専攻は日本語、歴史、ビジネスの3つです」

「ALTを志望したのは、日本に住みたいとずっと思っていたからです。日本語を上達させたかったし、日本文化にもとても興味があるからです」

「日本の中学に来て驚いたことの一つは、アメリカでは時限ごとに生徒が教室を移動するのに、日本では先生が移動すること、それに給食がとてもおいしいことです。たまに苦手なものも出ますが（笑）」

「生徒たちとは、昼休みに校庭で遊んだりすることがあります。みんな、とてもフレンドリーですね。そして英語に対してとても意欲的です。シャイな子もいますが、たくさんの子が廊下で私を呼び止めて、一生懸命英語をしゃべろうとするなど、大変積極的です」

「日本の印象は、人々がプライベートを守ろうとする文化でしょうか。アメリカではみんなフレンドリーで、誰とでも話す、というか……。また、すばらしいと思うのは自然に対する考え方や態度です。リサイクルや家庭や周辺の自然を大切にしていますよね」

「来日してから訪れた所は東京の浅草です。お寺や小さなお店がたくさん並ぶ参道などに行きました。日本の伝統的

なウエディングも偶然見ました。人力車というのでも（笑）。私は歴史大好き人間なので、浅草はとても面白かったです」

「趣味は、ドローイングやペインティングなど絵を描くこと。日本の美術館にもどんどん行ってみたいです。料理も大好きです。時間のある時は日本料理に挑戦しています。オムライス、鶏肉やサーモンの照り焼きなどです。オムライスはアメリカにはないんです。おいしくて大好きなので、頑張って作りました（笑）」

### 子供の頃、ポケモンゲームで

#### よく遊びました

#### メロディ・ショーさん

「アラバマ州バーミングハムの出身です。州東部のオーバーンにあるオーバーン大学を卒業。専攻は英文学、副専攻はアジアン・スタディーです。英文学専攻ですが、一番好きなのは世界の文学、特にインドや中東、日本の文学です。アメリカの文学とは大変異なるので、とても興味があります」

「六中の生徒たちはとても真面目ですね。とくに素晴らしいと思うのは挨拶です。毎朝学校に行くと、みんながお互いに『おはよう！』と笑顔で挨拶あっています。それを聞くと、とてもハッピーになります。また、英語にとっても意欲的、熱心です。生徒たちと一緒に話したりすることで、その意欲を手助けできるのはとても幸せに感じます」

「学校の給食は何が出てくるか毎日楽しみです。私はトマトがダメなんです。ある日、トマトスープが出たんです。『オー、トマト～！』と思いましたが、飲んだらおいしかったのでビックリ（笑）。あれだけのたくさんの品目の献立を全員に作るのは大変なことだと思います。日本の給食は本当に素晴らしいですね」

「実は日本には5年前に一度来ています。京都や軽井沢などを旅行しました。今回はまだあまり出かけていません。東京には何回か行きましたが、東京の印象？ とても大きい、とてもクリーン、とても安全（笑）！」

「趣味は歌うこととピアノを弾くことです。私の名前は「音楽のメロディー」と同じ発音。つづりの最後だけ違います。音楽のほうは「y」、私は「i」で終わる。音楽好きな父が名付けたのですが、名前のためか私も音楽が大好きです。それと書くことも好きです。ストーリーを書いたり、調査や研究したことのレポートや論文を書いたり……。あとビデオゲームも好きですね。子供の頃、ポケモンのゲームでよく遊んだことはよい思い出です（笑）」

将来の夢は、「日本語にもっと堪能になりたいです。そして、日本で知ったこと学んだことを、アメリカにいて日本やアジアについてあまり知らない人たちに知らせたいです」（アレクシスさん）。「翻訳家や通訳など、日本語の



専門家になりたいです。そして、アメリカと日本の絆をより強くしていくことができれば素晴らしいと思います」（メロディさん）。そう異口同音に語るお二人でした。

8月の来日時、「乗って来た飛行機は乗客は13人でガラガラ。おかげでとてもゆったり来られました」（アレクシスさん）と笑いますが、空港での入国前の検疫は2、3

時間もかかり、「結果によっては“帰国しなさい”と言われるかもしれないので、ドキドキしながら待機していました」（メロディさん）といます。

コロナ禍の困難な時代にはるばるやって来られたお二人。あらためて、Welcome to Narashino! です。

(インタビュー：広報部会 佐藤洋子)

## オリンピック・パラリンピックのボランティアに参加しました 感謝と貢献を動機に、感動と交流を収穫に

伊東稔雄（広報部会）

私がオリンピック・パラリンピックのボランティアを志願した動機は感謝と貢献です。前回の東京大会をはじめオリンピック・パラリンピックからはこれまで多くの感動をもらいました。それらに対する感謝・恩返しをしたいという気持ちからです。また、私の人生ではたぶん最後になるであろう東京での開催に何らかの貢献をしたいという気持ちもありました。

面接や研修を重ね準備を進めていましたが、コロナウイルスのため、1年の延期が決定されてしまいました。2021年に実施が決定されたと思いきや、直前になり無観客となりました。私が活動する予定であったイベントサービス（主に観客の案内や誘導等）という仕事が無くなってしまったのです。

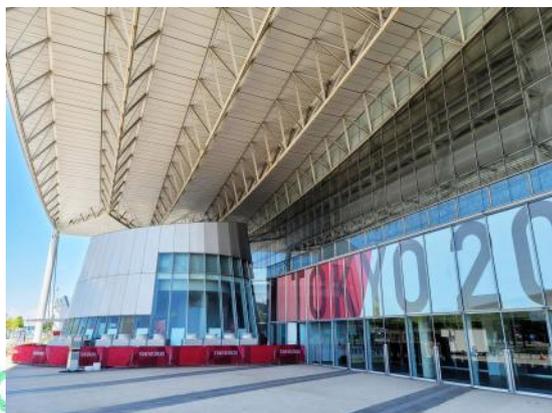
幸いなことに、組織委員会が役割を与えてくださり、幕張メッセで行われたフェンシング競技のテクノロジーチーム（時間や電光掲示板の管理、選手がつける器具の管理等）の一員として活動することができました。活動中は緊張しましたが、大きな充実感を得ることができま

した。

フェンシング競技を見ることは初めてでしたが、世界のトップの選手たちの試合には感動しました。また、男子エペ競技において日本チームが金メダルを獲得したことに感謝しました。

ボランティア仲間との交流も収穫の一つです。我々のチームには外国からの方もいていろいろ話すことができました。ボランティア仲間同士での国際交流も進んだことがうれしく感じられます。

今回のオリンピック・パラリンピックの実施については様々な意見があり、我々ボランティアも、コロナで苦しんでいる方々や悲しい思いをされている方々に思いをはせながら活動していました。同時に、世界中が苦しむ中、人生をかけて努力を続け、この場に立つアスリートたちのパフォーマンスを支えたいという気持ちもあったように思います。そして今、今回のオリンピック・パラリンピックが、理念である世界の平和にほんの少しでも寄与できていたならうれしく思います。



会場入口（左上）  
会場内（左下）  
会場マスコット（右上）  
競技ロゴ（右下）

## 文化講演会のお知らせ！

今年度の文化講演会は、落語家お二人をお迎えします。  
落語だけでなく、お二人のトークショーもお楽しみください。

- 開催日：2022年2月27日（日）
- 開演時間：14：00（開場13：30）
- 出演者：三遊亭楽生さん&三遊亭好青年さん（スウェーデン人）
- 会場：プラッツ習志野 市民ホール
- 参加費：会員500円、非会員1,000円（当日会場にてお支払いください）
- 申込方法：事前に事務局にお申し込みください



三遊亭楽生さん



三遊亭好青年さん

## 2022年姉妹都市タスカルーサ市桜まつり アラバマ大学主催俳句コンテスト 作品募集！

習志野市の姉妹都市であるタスカルーサ市では、桜が咲き誇る毎年3月末から4月頃に  
「タスカルーサ市桜まつり俳句コンテスト」が開催され、習志野市からもたくさんの俳句を応募しています。

■テーマ：「はぐくむ（Nurture）」

このテーマで俳句を作り、一人一点応募してください。

■応募要領：応募用紙はNIA事務局または協会ホームページから入手してください

■応募締切：2022年1月28日（金）までにNIA事務局に提出してください（持参、FAX、Eメール）

■応募部門：①小学校1年生から3年生、②小学校4年生から6年生、③中学校・高等学校、④成人の部の4部門です

■表彰：部門別の入賞者に、アラバマ大学から賞状が授与されます

■留意事項：作品は、未発表のオリジナルに限ります

### <発行>

習志野市国際交流協会  
千葉県習志野市津田沼5-12-12  
サンロード津田沼6F  
〒275-0016  
Tel&Fax 047-452-2650  
<http://www.nia08.com/>  
[nia@jcom.zaq.ne.jp](mailto:nia@jcom.zaq.ne.jp)  
詳しい記事がNIAホームページからご覧になれます

### <広報から>

- ★メールマガジンに読者登録をスクウェアの電子版「メール・スクウェア」を配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレス [niasquare@jcom.zaq.ne.jp](mailto:niasquare@jcom.zaq.ne.jp) まで。
- ★原稿をお寄せください  
イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局または [niasquare@jcom.zaq.ne.jp](mailto:niasquare@jcom.zaq.ne.jp) へ。
- ★スクウェア編集部員を募集しています  
一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。